

Unifier Cast V5/SPEによるWindows 10→11への インプレースアップグレードについて

Unifierに同梱されているSimple package editor（以下、SPE）を用いて個別にパッケージ配布する手順を記載しています。Windows 11のisoファイルを事前にSPEで加工調整したのちUnifierで配信することでインプレースアップグレードを実現させます。

- ・ 事前にUnifierの環境構築が完了している前提です。
- ・ 事前にWindows 11にアップデートできるPC要件であることを前提にしております。
- ・ Unifier Cast v5はv5.10.1以上でWindows 11に対応しております。
- ・ 配布前にお客様環境での配布の実地検証を行なった上でご利用ください。

【手順の流れ】

- 1.Windows 11のisoファイルを準備する
- 2.配布に必要なレジストリ変更ファイルを作成する
- 3.Unifier/SPEで配布できる形に加工してパッケージ化する
- 4.Unifierの配信機能を利用して対象のWindows 10マシンに配布をする

下記サイトからダウンロードします

<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows11>

今すぐダウンロード

Windows 11 ディスク イメージ (ISO) をダウンロードする

このオプションは、ブート可能なインストール メディア (USB フラッシュ ドライブ、DVD) を作成するか、仮想マシン (.ISO ファイル) を作成して Windows 11 をインストールするユーザー向けです。このダウンロードは、プロダクト キーを使用して正しいエディションのロックを解除するマルチエディションの ISO です。

Windows 11 (multi-edition ISO)

+ 作業を開始する準備

ダウンロード

製品の言語の選択

Windows をインストールするときに同じ言語を選ぶ必要があります。現在使っている言語を確認するには、[PC 設定] の [時刻と言語] またはコントロール パネルの [地域] にアクセスします。

日本語

確認



黄色部分を選択し「確認」ボタンクリック後
「64-bit ダウンロード」ボタンクリックし
ISOファイルをダウンロードします。

ダウンロード

Windows 11 日本語

64-bit ダウンロード

+ ダウンロードを確認

SPEのダウンロード（事前準備）

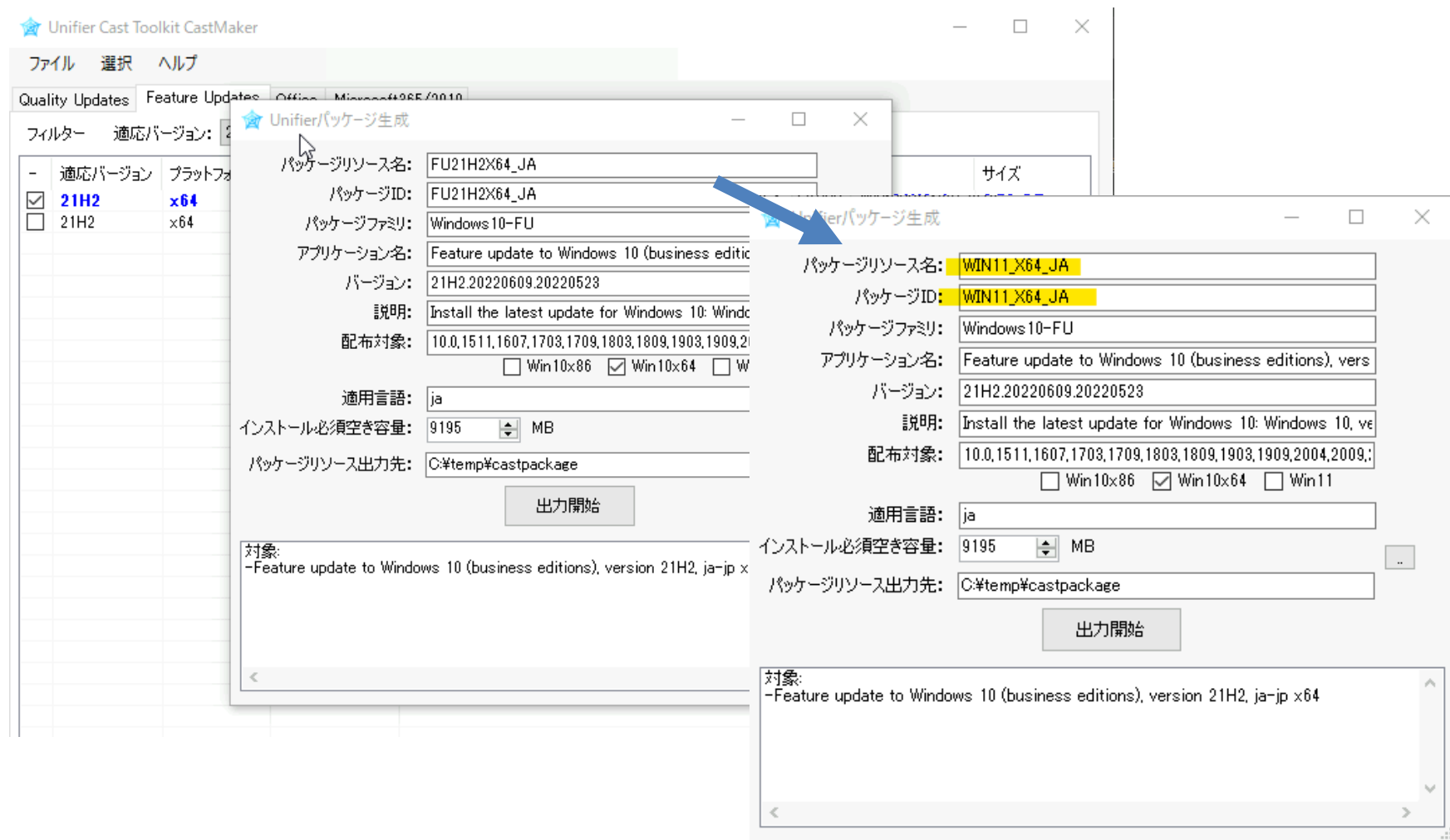
下記サイトから「SPE_Ver_1.3.2.0.zip」ダウンロードし解凍しておきます。

<https://www.flexwp.yrl.com/>

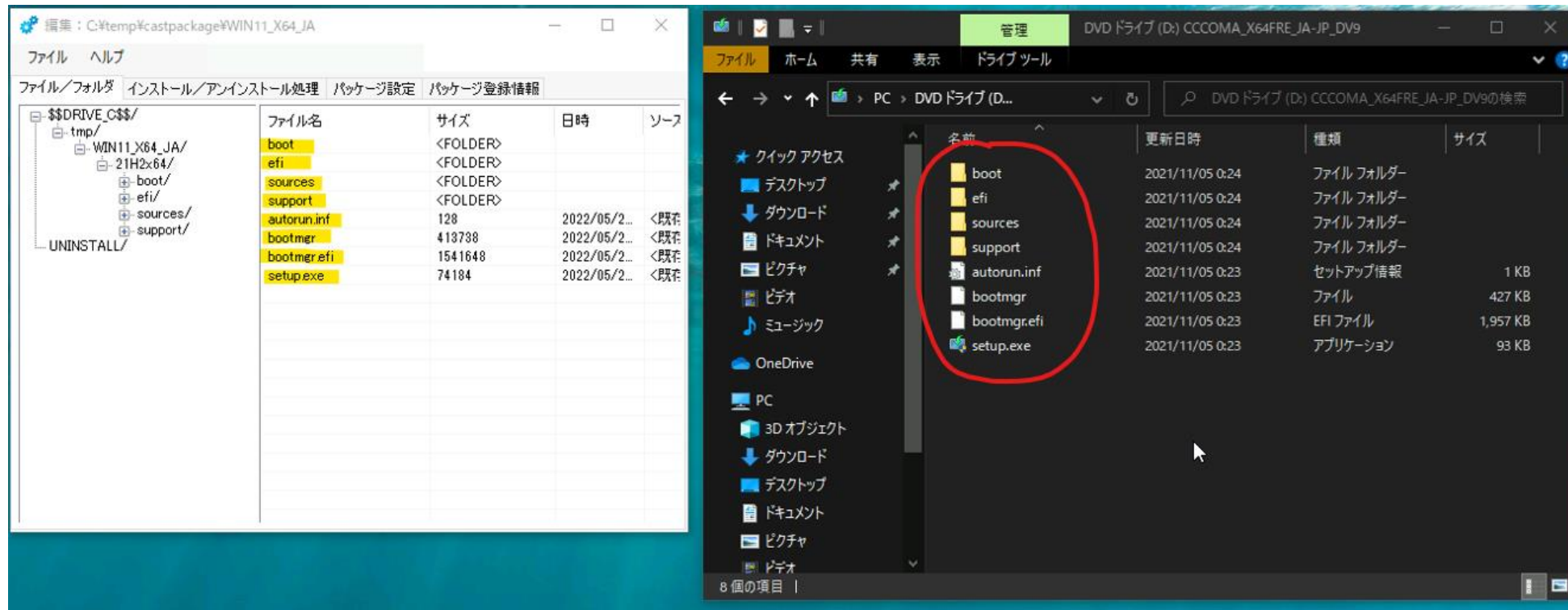


CastMakerから 元になるFUパッケージ作成

マスターサーバーからCastMakerを起動し「21h2」を選択します。
パッケージリソース名、パッケージIDの「FU21H2x64_JA」を「WIN11_X64_JA」に変更しパッケージ作成します。
パッケージは下記で編集しますのでデスクトップに出力します。

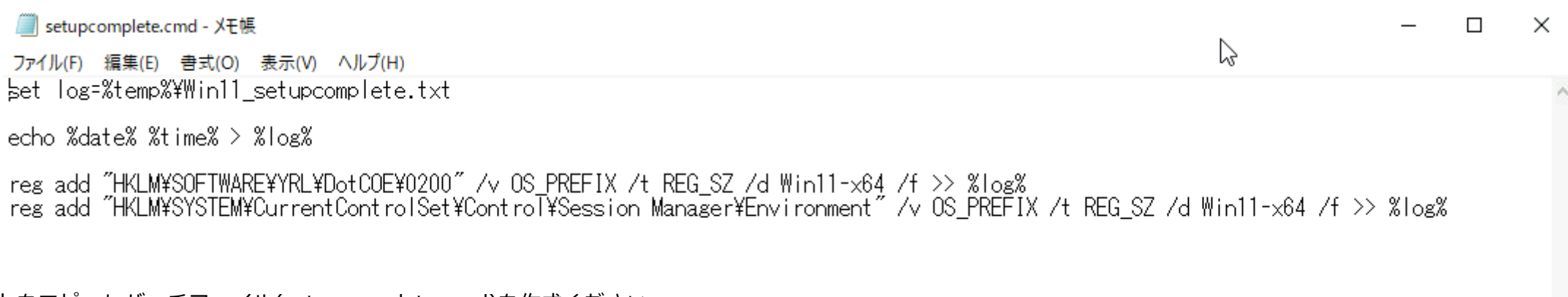


セットアップモジュールをWindows11のファイルセットに差し替えます。
SPEを起動しデスクトップの WIN11_X64_JA パッケージの「WIN11_x64_JA.xml」を読み込みます。
tmpフォルダ配下の21H2x64を選択し、黄色のデータを削除し、Windows11のISOからメディアデータ（赤丸部分）をドラッグ&ドロップします。
※黄色部分を削除し赤丸部分に差し替えます。
※右のエクスプローラーがWindows11のISOをマウントして参照しているイメージです。



setupcomplete.cmd の起動追加とセットアップオプションに /EULA 追加

setupcomplete.cmdはWindows11セットアップ後に動作するバッチファイルです。
下記内容でsetupcomplete.cmdを作成し、WIN11_X64_JA配下にコピーします。
setupcomplete.cmdは UnifierのPREFIX値（レジストリ値と環境変数）をWindows11用に設定します。



```
setupcomplete.cmd - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
set log=%temp%\%Win11_setupcomplete.txt

echo %date% %time% > %log%

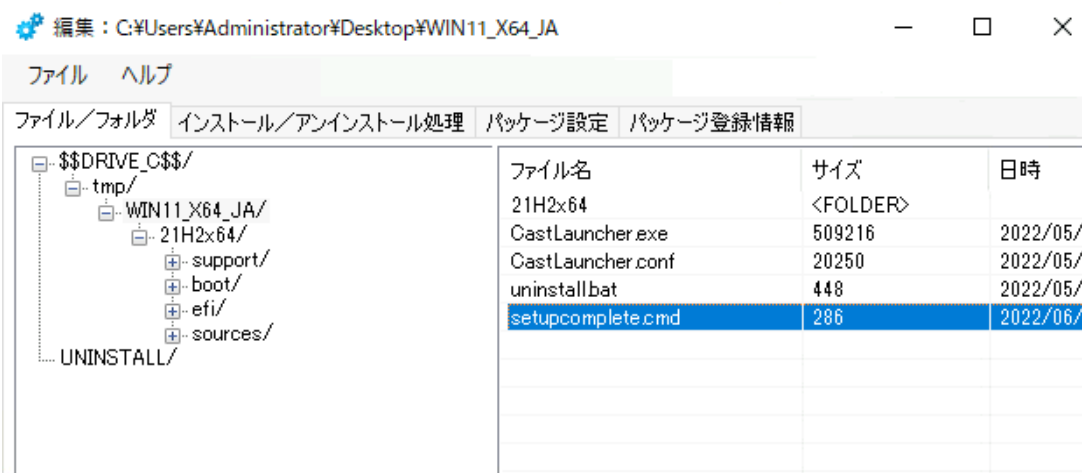
reg add "HKLM\SOFTWARE\YRL\DotCOE\0200" /v OS_PREFIX /t REG_SZ /d Win11-x64 /f >> %log%
reg add "HKLM\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Session Manager\Environment" /v OS_PREFIX /t REG_SZ /d Win11-x64 /f >> %log%
```

下記テキストをコピーしバッチファイル(setupcomplete.cmd)を作成ください。

```
set log=%temp%\%Win11_setupcomplete.txt

echo %date% %time% > %log%

reg add "HKLM\SOFTWARE\YRL\DotCOE\0200" /v OS_PREFIX /t REG_SZ /d Win11-x64 /f
>> %log%
reg add "HKLM\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Session Manager\Environment" /v
OS_PREFIX /t REG_SZ /d Win11-x64 /f >> %log%
```



setupcomplete.cmd の起動追加とセットアップオプションに /EULA 追加

CastLauncher.confを右クリックから「テキスト編集」を選択し、下記黄色の引数を追加し保存します。

setupcomplete.cmdを起動する /postooobe オプション と Windowsセットアップ時のライセンス条項を承諾する /EULA オプションを設定します。

Win11のISOが22H2の場合は22H2に書き換えます。

赤枠の後ろに ,21H2x64,22H2x64 を追記します。適用対象OSを追記します。

黄色部分の下記テキストをコピーしCastLauncher.confに貼り付けてください。

```
/postooobe c:%tmp%win11_x64_ja%setupcomplete.cmd /EULA accept
```

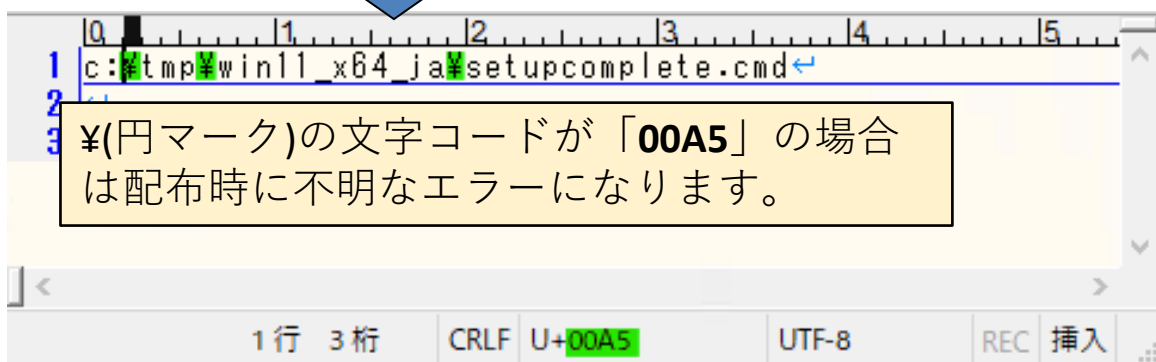

/postoobe オプションの文字コード確認

前頁で設定した黄色のパス内の¥(円マーク)の文字コードが「00A5」の場合、パッケージ配信時に「不明なエラー」になりますので①～③の手順で「005C」に設定します。
※最初から「005C」の場合は①～③の作業は不要です。

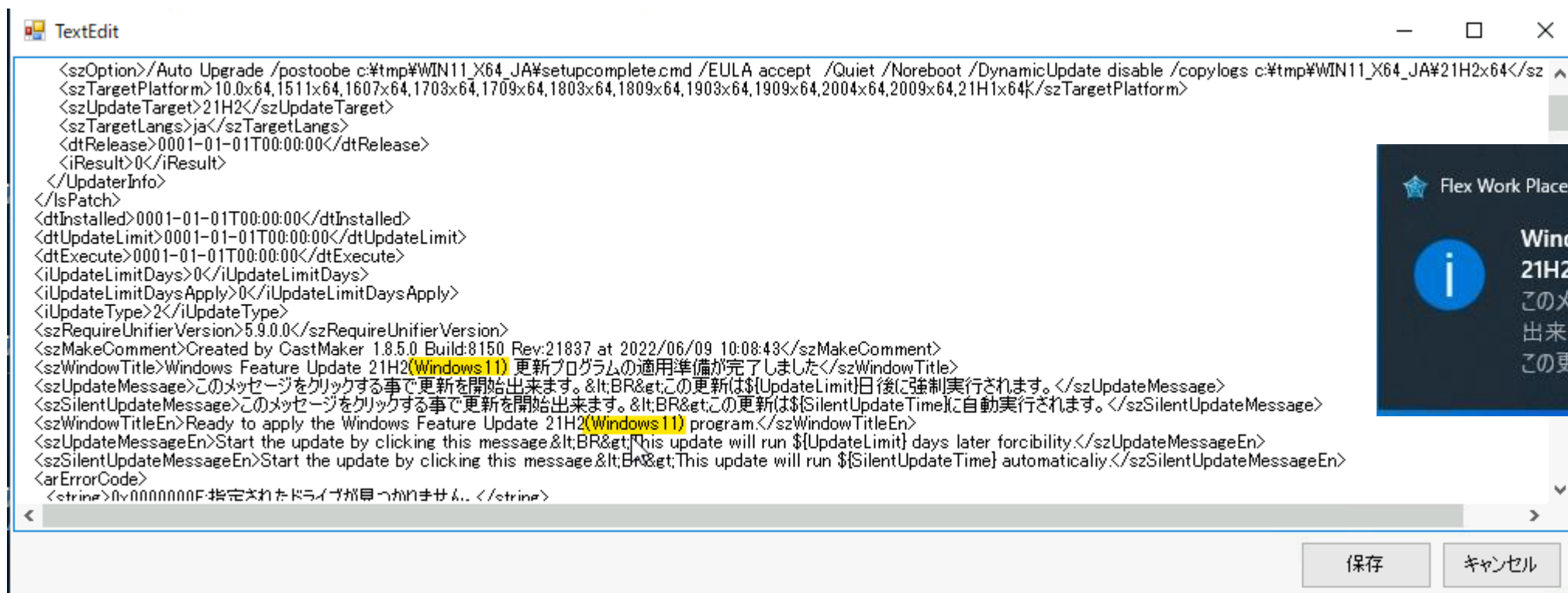
①黄色のパスをテキストエディタにコピーし¥(円マーク)の文字コードを確認します。

②¥(円マーク)の文字コードが「00A5」の場合は上記黄色パス内の¥(円マーク)を手動で削除し、¥(円マーク)を再設定します。

③再度、黄色のパスをテキストエディタにコピーし¥(円マーク)の文字コードを確認します。



適用猶予期間に表示される文言に「(Windows11)」を追加し、保存します。
※トースト通知に表示される文字列を変更します。

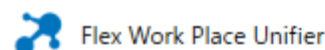


```
<szOption>/Auto Upgrade /postooobe c:#tmp#WIN11_X64_JA#setupcomplete.cmd /EULA accept /Quiet /Noreboot /DynamicUpdate disable /copylogs c:#tmp#WIN11_X64_JA#21H2x64</sz
<szTargetPlatform>10.0x64,1511x64,1607x64,1703x64,1709x64,1803x64,1809x64,1903x64,1909x64,2004x64,2009x64,21H1x64</szTargetPlatform>
<szUpdateTarget>21H2</szUpdateTarget>
<szTargetLangs>ja</szTargetLangs>
<dtRelease>0001-01-01T00:00:00</dtRelease>
<iResult>0</iResult>
</UpdaterInfo>
</IsPatch>
<dtInstalled>0001-01-01T00:00:00</dtInstalled>
<dtUpdateLimit>0001-01-01T00:00:00</dtUpdateLimit>
<dtExecute>0001-01-01T00:00:00</dtExecute>
<iUpdateLimitDays>0</iUpdateLimitDays>
<iUpdateLimitDaysApply>0</iUpdateLimitDaysApply>
<iUpdateType>2</iUpdateType>
<szRequireUnifierVersion>5.9.0.0</szRequireUnifierVersion>
<szMakeComment>Created by CastMaker 1.8.5.0 Build:8150 Rev:21837 at 2022/06/09 10:08:43</szMakeComment>
<szWindowTitle>Windows Feature Update 21H2(Windows 11) 更新プログラムの適用準備が完了しました</szWindowTitle>
<szUpdateMessage>このメッセージをクリックする事で更新を開始出来ます。&lt;br&gt;この更新は${UpdateLimit}日後に強制実行されます。</szUpdateMessage>
<szSilentUpdateMessage>このメッセージをクリックする事で更新を開始出来ます。&lt;br&gt;この更新は${SilentUpdateTime}に自動実行されます。</szSilentUpdateMessage>
<szWindowTitleEn>Ready to apply the Windows Feature Update 21H2(Windows 11) program.</szWindowTitleEn>
<szUpdateMessageEn>Start the update by clicking this message&lt;br&gt;This update will run ${UpdateLimit} days later forcibility.</szUpdateMessageEn>
<szSilentUpdateMessageEn>Start the update by clicking this message&lt;br&gt;This update will run ${SilentUpdateTime} automaticaly.</szSilentUpdateMessageEn>
<arErrorCode>
<string>0x0000000F 指定されたドライブが見つかりません。 </string>
```



パッケージを%IROOT%\¥PACKAGEフォルダに出力し配布パッケージ設定から黄色の箇所を変更します。

変更したパッケージ検証PCに配信し確認をします。



← 配布パッケージ設定

パッケージID	WIN11_X64_JA
アプリケーション名	Feature update to Windows 10 (business editions), version
バージョン	1
説明	Install the latest update for Windows 10: Windows 10, vers
パッケージリソース	WIN11_X64_JA <input type="button" value="選択"/>
リソースパス	
配布タイプ	強制インストール <input type="button" value="▼"/>
パッケージファミリ	Windows11-FU
配布対象	OS/Office バージョン 03,1909,2004,2009,21H1,21H2,22H2 アーキテクチャー <input checked="" type="checkbox"/> Win10(x64) <input type="checkbox"/> Win10(x86) <input type="checkbox"/> Win11(x64) 言語 ja
ローディング方式	<input checked="" type="checkbox"/> 分散配布機能を使用する サーバーダウンロード閾値(台数) 1 <input type="button" value="▲"/> <input type="button" value="▼"/>

配布パッケージ設定画面で黄色の箇所を変更します。

- アプリケーション名
Windows11用パッケージと分かるように修正します。
- バージョン
「1」を設定します。
- 説明
Windows11用パッケージと分かるように修正します。
- パッケージファミリ
「Windows11-FU」を設定します。
- 配布対象
「,21H2,22H2」を追加します。

本資料の掲載内容は、著作権法およびその他の知的財産権関連法令で保護されています。法律で特に定める場合を除き、当社の事前の承諾なく利用すること、複製すること、内容に変更を加えること、および公衆送信などの利用を行うことは禁じられています。